

## 入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の平成29年度第3回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

### 記

開催日時 平成29年11月17日（金） 15：00～16：40

会 場 北九州市庁舎15階 15C会議室

## 平成29年度 第3回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

### 1 会議名

平成29年度 第3回 北九州市入札等監視委員会

### 2 開催日時・会場

開催日時 平成29年11月17日（金）15:00～16:40

会場 北九州市庁舎15階 15C会議室

### 3 出席委員（五十音順）

今泉 恵子、上地 和久、菊池 裕子、中尾 美佐、松田 亨

### 4 議事

#### （1）平成29年度第2四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

#### （2）平成29年度第2四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、平成29年度第2四半期に契約をした工事の中から、今泉委員が10件（契約課契約分8件、東部整備事務所契約分2件）を抽出した。

イ 審議における質疑等

（問） 一般競争入札による建築工事で、議会案件なので、詳しい入札状況を知りたい。

（答） 予定価格が5億円以上の場合は議会案件となっている。参加資格は市内業者で、総合評定値900点以上という指数を条件としたところ、対象が20社、手を挙げたのが6社、応札したのが3社という結果だった。

（問） 議会案件にあがるのは年間何件くらいか。

（答） 去年は4件で、今年は今のところこの1件のみである。

（問） 一般競争入札による土木工事で、落札額の順位が1番高い業者が落札しているの、詳しい入札状況を知りたい。

（答） 総合評価落札方式なので、今回は総合評価の評価値が高いところをとっている。

（問） 入札者がすべてJVなのはなぜか。

（答） 公告で指定しており、2億円以上の工事ではJVを指定している。

（問） 一般指名競争入札による土木工事であるが、辞退者が多いので詳しい入札状況と、工事名の付帯工事の意味を知りたい。

(答) 対象は50社ほどあったが、13社が手を挙げて、5社が辞退、8社が応札している。道路改良に基づく河川の移設であり、手間がかかるか、ノウハウがないかで辞退が多かったと思われる

(問) 一般競争入札によるしゅんせつ工事で、予定価格が1.7億円と高額だが、入札に1社しか参加していないので、詳しい入札状況を知りたい。

(答) しゅんせつの業者は12社しかない。開札の時期には北九州空港や関門航路の工事があり、そちらに業者が流れたのではないかと思われる。当工事では作業船をチャーターしなくてはならず、業者としては十分な利益が出ないと考えたのではないか。

(問) 一般競争入札による土木工事だが、落札率が99.87%と非常に高いため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) JR日豊線安部山公園駅のバリアフリー化に伴う工事で、8社が手を挙げたが、7社が辞退した。駅が近く、人通りが多いため安全対策が必要であり、手間のかかる工事である。辞退理由としては、4社が手間がかかり金額的に合わないため、残りは他に仕事があるため等となっている。

(問) 一般競争入札による造園工事で予定価格が比較的高額だが、件名に29-1とあるので工事が続くと思われる。一連の工事の規模等全体像を知りたい。

(答) 28年度にも工事が行われている。今年度は設計段階で29-2があるかもしれないということであったが、29-1で完了したとのこと。外国人の観光客が多くなっているための整備である。

(問) 指名競争入札の建築工事であるが、落札率が97.99%と高く、業者数も多いので、詳しい入札状況と、学童クラブの新築ということで内容についても知りたい。

(答) 当初47社指名し、手を挙げてきたのが29社で、応札したのが4社のみであった。辞退理由は25社のうち24社が、民間での仕事がある、金額が合わないとしている。大きな建物になると、建築系、電気系、機械系と分割して発注するが、今回のような小さい工事だと、1つの工事として発注することになり、建築業者の利益率が下がる場合がある。その結果、予定価格近くで応札してくるので落札率も高くなっている。

(問) 一般競争入札と指名競争入札による建築、塗装、防水工事だが、工事名が同じ外壁改修工事で、工種が違っているので、工事内容の違い等を知りたい。

(答) 外壁工事は防水と塗装だが、どちらがメインになるかで、工種が分かれる。また、高層階になると大規模に足場を組むことになるので、建築で発注している。

(問) どういった工種がメインになるか調査しているのか。

(答) 設計金額を精査すれば、どちらがメインかはわかる。

(問) 指名競争入札による舗装工事で、落札率が100%になっているため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 指名業者14社に対して、応札したのが2社で、そのうち1社が最低制限価格を下回ったため、予定価格で応札した業者が落札した。結果、落札率が100%になった。辞退等が相次いだのは、小規模の工事であったことが考えられる。

(問) 指名競争率によるとび土工工事で落札率が100%になっているため、詳しい入札状況を知りたい。

(答) 指名業者15社に対して、13社が応札しているが、落札業者を除く12社は最低制限価格を下回ったため失格となり、予定価格と同額で応札した業者が落札したことから、落札率が100%になった。12社が最低制限価格を下回った理由としては、ランダム係数が、1.005と最高値であったことが考えられる。

(問) 結果は公表しているのか。苦情はこないのか。

(答) 公表している。ランダム係数については今年度100通りから50通りに半減させるといった措置もとっている。

(問) 舗装や法面の工事は、価格競争が可能な分野だと思うが、何かコストや手間がかからず機械的にできる方法で、公平性も保ちながらできるシステムの構築はできないものだろうか。

(答) 市側としてもいい方法があればと考えるが、難しい問題である。

(問) ランダム係数の方式をとっているのは、北九州市だけなのか。

(答) 他に6つの政令市でとられており、ランダム係数の幅は各々違う。ちなみに福岡県と福岡市は最低制限価格を公表している。他には、予定価格を公表せず、ランダム係数を用いていないケースがある。

(問) ランダム係数を用いるところは、政令市では減っているのか。

(答) 政令市では変わっていないが、佐賀県はやめて、予定価格だけを公表している。ランダム係数については、今年度幅を半減した結果について、業界等にも意見を聞く予定である。

※ 次回の委員会は、平成30年2月16日(金)に開催することとなった。